

さわって

みる

さわりたいくない
エゾイラクサ



アイヌ語名は（ ）内に の写真は毒草

❖ はじける実 — キツリフネ



キツリフネの実



はじけたキツリフネの実



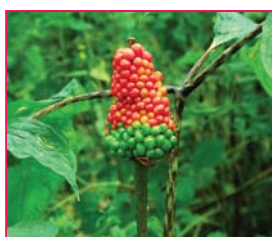
キツリフネの花

キツリフネの実らしきものを見つけたら、さわってみてください。
しゅんぱん瞬間的にタテに割れ、わタネがはじけ飛びます。

❖ ツルツル坊主 — コウライテンナンショウの実

秋、まっすぐ伸びた茎の上に真っ赤な丸い実がたくさん付いたコウライテンナンショウ（ラウラウ）を見つけたら、なでてください。
どくとく独特のツルツル感が気持ちいいですよ。

ただし、やつこう毒（薬効も）があるので色につられて食べないように。



コウライテンナンショウ（ラウラウ）の実



なでみる子どもたち（道立十勝エコロジーパークの自然観察会より）

道立十勝エコロジーパーク：十勝川中流域にある、自然と人間との共生の理念を受けとめその実現を目指す公園。道立公園

❖ つぼみの花を開く — メマツヨイグサ



メマツヨイグサ（外来種）の花とつぼみ

マツヨイグサ（待宵草）の名の通り、夕方を待って花を広げる草です。

いたずらして開きそうなつぼみを開いてみましょう。中にうまくたたまっていた花を昼間に咲かせることができます。ちょっとかわいそうですが、えんりょ実に強い草なのであまり遠慮はいりません。

❖ ひっつき虫 — キンミズヒキの実

キンミズヒキの実にはトゲがあり、服にくっつきます。友達にぶっつけてみてください。

アメリカセンダングサの草むらを歩いた後は、服についた実が取れなくて取れなくて大変です。

そのほかコウゾリナなど毛の生えた草もいろいろ感觸が楽しめます。かんしよくただしイラクサ（モセ）の仲間にはさわるとしばらく痛がゆいです。



キンミズヒキの実



アメリカセンダングサ（外来種）

参考文献

「アイヌ植物誌」 福岡イト子 草風館 1995

「花のおもしろフィールド図鑑 春・夏・秋」 ビックオ 実業の日本社 2001～2002

「森林で遊ぼうシリーズ3 おもしろい草花の話」 北海道立林業試験場 北海道林業改良普及協会 1998